

1. 短期予測 (p. 1)

- ① [円高ドル安は続く：ヨーロッパからの圧力] “誉め殺し”状態にあったユーロ高に悲鳴を上げた欧州中央銀行が円と人民元を狙い撃ち。
- ② [5月国会解散?] 政局が行き詰った場合、小泉は公明党を切り、民主党内の郵政民営化賛成派と組んで政界再編へ。
- ③ [偽一万円札と新円切替] ニセ1万円札事件は、新円切替へのシュミレーションか。富裕層は新円切替対象外といわれる2千円札を収集中。
- ④ [橋本派の在中利権はどうなる] 竹下シナ利権の後継者、額賀福志郎は政治力のなさからはずされた。橋本派の総裁候補は藤井孝男議員へ。
- ⑤ [イスラエル中銀総裁にIMFのNO.2就任] スタンレー・フィッシャー・シティ・グループ副会長がイ中銀総裁に。対パレスチナ和平に役割果たすか。
- ⑥ [小泉、対北朝鮮政策挫折で外務省に激怒] 横田めぐみさん偽遺骨問題を、小泉に知らせなかった外務省に激怒。ブッシュにも面子立たず、八方塞り。

2. 展望①金と石油は今後も価格維持 (p. 6)

- ① [地政学的リスクだけが要因ではない] 石油と金が高い。79年のソ連アフガン侵攻以降、金は20年間国際危機に反応しなかった。
- ② [BRICs 開発論とリンク] 一次産品価格の上昇は第三世界開発論にリンク。国際金融資本も一次産品上昇を支持。
- ③ [Gold はドル暴落とドル救済の両方とリンク] Gold 上昇は米ドルへの不信から。長期的にはドルは部分的金本位制となり、ドルは救済される。

3. 展望②中共に近づくヨーロッパと米中対立 (p. 9)

欧州(特に独仏)が中共に急接近。「日・米」VS「中・欧」の対立図式浮上。ライス外交は親欧州ではなく、中共問題で米と独仏の利害は対立。

4. 展望③国内情勢 (p.12)

郵政民営化は小泉の対米公約で成立確実。郵貯・簡保の350兆円はアメリカが推進する拡大中東民主化計画の原資に。小泉と信長はともにグローバリズム勢力の尖兵役。日米合邦へ、皇室改革が進む。

5. 展望④プーチンは何と闘っているのか? (p. 16)

スイス系ユダヤ人の石油トレーダー兼金融家のブルース・ラパポートが、モサド、CIA、アルカイダ、ロシア新興財閥を結ぶキイ・パーソン。プーチンは闇の国際権力との終わりなき戦いの泥沼に入っていくのだろうか。